

雪印種苗・スイートコーン

「ララミー」「アイダホスイート」シリーズの紹介

雪印種苗(株) 北海道研究農場

松 田 政 志

1 はじめに

スイートコーンの収穫量は平成8年産で約286,000 tであり、昭和63年のピーク時に比べると減少傾向にあります。しかし、他の主要野菜が周年的に供給され、季節感が薄らぎつつある中で、旬を感じさせる季節商材としてスーパー、量販店などでは貴重な位置づけにあります。また、外食産業や家庭においても缶詰、冷凍、パウダーなどに加工されたスイートコーンが、手軽な食材として利用されており、業務加工用として今後より一層の需要が期待されます。

品種の動向としては、昭和61年から急増して、今、現在も市場の主流を占めているバイカラー品種も、一時期ほど有利に取り引きされることがなくなりました。バイカラー、黄色等の果皮色にこだわらずにおいしいもの、品質の良好なものを期待する声が大きくなってきたのです。

近年、新しく発売されている品種は、これらのニーズを踏まえて食味の点から改良が進んでおり、甘さが極めて強い品種や、食感の変わった品種が多く出回るようになりました。しかし、一方では発芽が良くない、収量が低いなど栽培面で多くの問題を抱えています。実際、甘みの強さや果皮の軟らかさを追求した品種は、種子に含まれる胚乳の部分が少ない傾向にあり、発芽に要する力が弱まったり、初期生育が劣るとされています。また、採種の場面でも同様の問題が指摘されており、十分な栽植本数を確保することができず、採種量が不安定となってしまうようです。品種自体にスイートコーンらしい風味が少なくなったなどとも指摘されています。

当社としましても上記の点を踏まえ、味・品質が良く、かつ生産性の高い品種開発を目指しています。また、青果用、加工用それぞれの用途に合った品種開発に取り組んでおり、青果用のバイカラー種『ララミー』シリーズと、加工用兼青果用の黄色種『アイダホスイート』シリーズを販売してきました。ここでは、新たにラインアップに加わった、『ララミー 112』、『ララミー 123』、『アイダホスイート 78』、『アイダホスイート 84』を中心に品種特性と、栽培のポイントについて紹介致します。

2 バイカラー種

『ララミー 112』と『ララミー 123』

『ララミー』シリーズは、食味が良好なバイカラー品種として市場評価も高く、好評を得てきました。しかし、生産者サイドからは発芽がやや不安定なことから、年次による収量性のぶれが指摘されていました。新品種の『ララミー 112』と『ララミー 123』は改良タイプとして、食味が良好でボリューム感があり、栽培のしやすさ等は試験栽培の結果から評価されています(表1)。

1) ララミー 112 の品種特性 (写真1)

83~85 日で収穫できる早生種



写真1 ララミー112、早生種で甘味が強くおいしい

表1 『ララミー』シリーズ試験成績

品 種	絹糸 生育			穂 重		穂 長						
	抽出 (月日)	日数 (日)	俾長 (cm)	皮付 (g)	剥皮 (g)	全 (cm)	有効 (cm)	穂径 (cm)	列数 (数)	穂形 ねじれ	乱れ	甘味
(千葉研究農場 平成10年4月23日播種 マルチ栽培)												
ラ ラ ミ ー 112	6/21	81	177	397	298	19.7	19.3	5.2	16.8	7.0	7.0	7.0
他 社 品 種 A	6/20	83	180	387	290	20.1	18.0	5.1	17.6	6.0	7.0	7.0
(北海道研究農場 平成9年5月13日播種 マルチ栽培)												
ラ ラ ミ ー 112	8/2	101	161	390	282	21.3	18.8	5.0	18.0	6.0	6.0	6.0
他 社 品 種 A	7/31	101	149	390	260	21.6	19.4	4.7	17.6	6.0	6.0	5.0
(千葉研究農場 平成10年4月23日播種 マルチ栽培)												
ラ ラ ミ ー 123	6/27	89	172	396	317	19.4	19.1	5.2	18.7	7.0	7.0	6.5
他 社 品 種 P	6/28	90	181	388	304	19.8	18.3	4.9	18.7	8.0	6.5	6.0
(北海道研究農場 平成10年5月11日播種 マルチ栽培)												
ラ ラ ミ ー 123	8/4	112	171	452	330	20.5	19.7	5.5	19.2	7.0	6.0	7.0
他 社 品 種 P	8/7	114	175	416	314	20.0	19.2	5.4	20.2	6.0	6.0	7.0

評価基準 形: 9 (円筒形) - 1 (円錐形)、ねじれ: 9 (無) - 1 (甚)
乱れ: 9 (無) - 1 (甚)、甘味: 9 (極良) - 1 (極不良)



写真2 ララミー112
多粒列タイプでボリューム感があります

バイカラー種のスイートコーンの中では、最も早い熟期に属し関東標準で83～85日、寒高冷地標準で約98日で収穫できる早生種です。

おいしい早生品種

他の早生種に比べると甘みが強く、早中生種以降の一番おいしい熟期のスイートコーンと、同じく



写真3 ララミー123、稔実良好で粒皮は軟かい

らしい甘さを持っています。また、スイートコーンらしい風味に富んでいます。

穂径が太く、ボリューム感がある

穂長20cm前後、穂径5.5cm前後、皮付450g前後と重く、ボリュームがあります(写真2)。

小粒多粒列タイプで粒色が鮮やか

粒列数は16～18列の多粒列タイプです。また、粒色が濃く、白色粒とのコントラストが鮮やかで光沢があり、バイカラー種本来の穂の美しさを持った品種です。

2) ララミー123の品種特性(写真3)

約87日で収穫できる早中生種

関東標準で約87日、寒高冷地標準で約104日で収穫できる早中生種です。

早生種と中生種の間期の熟期にあたります。

先端稔実が良好で、帯化症の発生が少ない

先端稔実は安定して良好です。また、穂の先が偏平となる帯化症の発生は、他の早中生品種より少ない傾向にあり、粒色も濃いことから剥皮の見栄えも良好です。

穂径が極めて太く、ボリューム感に富む

穂径5.6cm前後で極めて太く、ボリューム感があり、2L級(450g)以上の規格品率が高く、多収が期待できます(写真4)。

甘みが強く食味良好

甘みが強く、果皮も軟らかく、スイートコーン独特の風味も強い品種です。また、甘みの強い品種は発芽が弱いとされていますが、ララミー123は安定して良好です。

3) ララミーシリーズの栽培上のポイント



写真4 ララミー123、2L級以上の規格品率が高い

表2 ララミー112の栽培時期

地 域	作型	月	2	3	4	5	6	7	8	9
北 海 道	ト ン ネ ル				●					
	マルチ・露地				●	●				
東北・高冷地	マルチ・露地				●	●				
	一般地・暖地				●	●				

ララミー123の栽培時期

地 域	作型	月	2	3	4	5	6	7	8	9
北 海 道	ト ン ネ ル				●	●				
	マルチ・露地				●	●				
東北・高冷地	マルチ・露地				●	●				
	一般地・暖地				●	●				
暖 地	マルチ・露地				●	●				

● 播種期 — 生育期 ■ 収穫期

適作型

ララミー 112, ララミー 123 は露地マルチ, 露地栽培に適しております(表2)。ハウス, トンネル栽培を行う場合は, 幼穂分化形成期(本葉5~6枚)に長時間高温に合うと, 先端不稔や小穂が発生する可能性がありますので, やや早めの換気を心がけてください。

圃場の選定と施肥

圃場づくりは完熟した堆肥等を多く入れて地力, 保水力を高め生育を良好にし, しっかりした茎葉を作るよう心がけます。施肥量については, 基肥による窒素の多用は, 発芽不良や軟弱徒長につながりますので, 追肥を考慮した施肥設計が大切です。追肥時期は本葉5~7葉期(ララミー 112 で播種後30~40日, ララミー 123 で播種後35~45日)と, 絹糸抽出期の2回程度に分け全施肥量の1/2~1/3は追肥でまかない, 生育を順調に進めます。また, 基肥に遅効性の肥料を使用することも効果的です。

栽植密度

スイートコーンの栽培では総収量ではなく, L, 2Lクラスの上物率が高くなるよう, また, 先端の



写真5 アイダホスイート78、黄色が濃く甘味が強い



写真6 アイダホスイート78、初期生育旺盛でそろいが良好

稔実が良好になるよう, 栽植本数を検討することが大切です。ララミー 112 もララミー 123 も2L規格の割合が多い品種ですが, 3,000~3,500本程度のやや疎植の栽培により, 大型で品質の良好な穂を確実に収穫することができます。

3 黄色種

『アイダホスイート78』と『アイダホスイート84』

加工用を目的としたスーパースイートタイプの黄色種は主に冷凍, パウダー, レトルト等に利用されています。『アイダホスイート』シリーズも北海道を中心に加工用として栽培されており, この度, 更に品質と収量性の向上を目指した, 新品種『アイダホスイート78』と『アイダホスイート84』

をラインアップに加えました(表3)。

1) アイダホスイート78の品種特性(写真5)

スーパースイート種の中で, 最も早い熟期の極早生種

関東標準で約80日, 寒高冷地標準で約93日で収穫できます。スーパースイート種のスイートコーンのなかで一番早い熟期の極早生種です。

発芽, 初期生育が良好

表3 『アイダホスイート』シリーズ試験成績

品 種	絹糸 生育		穂 重		穂 長		全 有効 穂径	列数	粒色	ねじれ	乱れ	甘味	
	抽出 月日	日数 (日)	稈長 (cm)	皮付 (g)	剥皮 (g)	(cm)							
	(月日)	(日)	(cm)	(g)	(g)	(cm)							
(芽室現地試験圃 平成9年5月20日播種 露地栽培)													
アイダホスイート78	7/31	105	—	395	305	21.7	19.7	5.0	13.4	6.5	6.0	6.0	—
他 社 品 種 H	8/2	105	—	381	290	22.1	19.9	4.8	12.8	6.5	6.5	6.5	—
アイダホスイート84	8/6	111	—	418	302	21.3	20.3	5.1	15.0	8.0	6.0	5.5	7.0
他 社 品 種 N	8/6	111	—	408	279	20.8	18.9	5.2	13.2	7.5	6.0	4.5	6.5
アイダホスイート88	8/8	118	—	464	335	21.7	21.2	4.9	14.6	7.0	6.0	7.0	7.0

評点基準 色: 9 (濃黄色) - 1 (白色), ねじれ: 9 (無) - 1 (甚) 乱れ: 9 (無) - 1 (甚), 甘味: 9 (極良) - 1 (極不良)

表4 雪印種苗スイートコーン品種特性

品種名	早晚性	生育日数		かん長 (cm)	皮付穂重 (g)	剥皮		列数	穂形	粒色	甘味	ねじれ	乱れ	先端の 稔実
		関東	北海道			穂長(cm)	穂径(cm)							
ララミー112	早生	85日	98日	155	450	20.0	5.6	16~18	やや円筒	やや濃黄/白	極強	やや少	やや少	良
ララミー85	早中生	87日	103日	180	450	20.0	5.5	16~18	やや円筒	やや濃黄/白	極強	やや少	やや少	良
ララミー123	早中生	87日	104日	170	460	20.5	5.6	18~20	やや円筒	やや濃黄/白	極強	やや少	やや少	極良
アイダホスイート78	極早生	80日	93日	150	430	21.0	5.0	12~14	やや円筒	やや濃黄	強	やや少	やや少	良
アイダホスイート84	早生	84日	98日	175	450	20.0	5.2	14~16	円筒	濃黄	極強	やや少	やや少	極良
アイダホスイート88	早中生	88日	105日	180	450	21.5	5.2	14~16	円筒	やや濃黄	強	やや少	やや少	極良
スノークイン	中晩生	98日	115日	200	390	20.0	4.8	12~16	やや円筒	白	中	少	少	極良



写真7 アイダホスイート84,先端までの着粒極めてよい

発芽は安定して良く、発芽そろい、初期生育も旺盛で良好です(写真6)。

穂長長く、上物収量が高い

剥皮穂長21cm程度で、先端稔実がよいため、軸付き冷凍用の規格分けの基準となる有効穂長も長く、上物率が高い品種です。

糖含量の低下が遅く、在圃性がやや長い

他の極早生種より糖含量の低下が遅いため、特にパウダー加工の栽培の場面では、収穫遅れによる品質の劣化は少ない傾向にあります。

2) アイダホスイート84の品種特性(写真7)

83~85日で収穫できる早生種

関東標準で83~85日、寒高冷地標準で約98日で収穫できる早生種です。軸付き冷凍加工用の基準品種であるアイダホスイート88よりも、5~7日早く極早生種と早中生種の中間の熟期に当たります。

穂径は太めで、先端稔実が良好

穂長20cm前後、穂径5.2cm前後、やや粒の小さい多粒列タイプです。天候不順の気象条件下でも先端稔実は安定して良好で、小穂の発生は少なくそろい性が優れます。

食味良好

従来の黄色種以上に甘みが強く、スイートコーンらしい風味があります。

倒伏に強い

草丈はやや高めになりますが、耐倒伏性は良好です。

3) アイダホスイートシリーズの栽培上のポイント

適作型

アイダホスイートは北海道の露地マルチ、露地栽培に多く利用されています。また、ハウス、トンネル栽培の作型にも対応することから、アイダホスイート78の熟期の早さを利用した、早だし栽培や青果用として、食味の良いアイダホスイート84、88を出荷することも可能となります。

播種

加工用を目的とした栽培では、露地栽培が主体の作型となるため、地温の確保が重要となります。良好な発芽を得るためには、地温が13℃以上になってから播種することや、マルチなどによって地温の上昇・保温に努めます。また、生育をそろえるためにも、1株3~4粒播きとし欠株を防ぎ、間引き時に健全で生育のそろった株を残すようにします。

4 むすび

以上、新品種『ララミー112』『ララミー123』『アイダホスイート78』『アイダホスイート84』の特性、および栽培のポイントについてご紹介いたしました。他にも市場評価の高い『ララミー85』、収量性が抜群な『アイダホスイート88』、昔なつかしい味の白色種『スノークイン』(表4)なども販売しておりますので、ぜひご利用いただけますようお願い申し上げます。